

鳥取北ロータリークラブ Rotary



THE ROTARY CLUB OF TOTTORI NORTH 2024 ▶ 2025

例会場: ホテルモナーク鳥取 例会日: 火曜日12:30~13:30

◆ 会長……水野 治郎 ◆ 副会長……田村 博信

◆ 幹事……田中 英剛 ◆ 会計……松本 啓介

◆ SAA……森下 泰年 ◆ 広報・プログラム委員長…米田由起枝

■ 創立: 昭和36年2月23日

■ 事務所: 鳥取市扇町22-1 山陰合同銀行鳥取駅南ビル

E-mail kitarc@infosakyu.ne.jp Tel.24-3536 Fax.29-6741



HP: <https://kitarc.jp/>

国際ロータリーの
テーマ



本日の例会

2025年2月18日(火) 四つのテスト 第3054回

- ◆ ロータリーソング 我等の生業
- ◆ 第4回ロータリー学生表彰 ※2/25 (火) 創立記念夜間例会
- ◆ 献立 100万ドルミール 18:00 ~

次回の例会

2025年2月25日(火) 席くじ 第3055回

- ◆ ロータリーソング 鳥取北RCの歌
- ◆ 委員会事項 入会記念日御祝
- ◆ 創立64周年記念夜間例会 ※2/28 (金) 東部5クラブ合同例会
- ◆ 献立 パーティー料理 18:30 ~ ホテルニューオータニ鳥取 3/4 (火) 休会

前回の例会

2025年2月4日(火)

会長挨拶

この冬最強と言われる寒波襲来が予想される向こう一週間。東北、北陸地方の大雪に関する情報を見聞きする中、改めて雪国に準ずる地域に住まう者として、日常生活に支障を来たさぬ様に準備だけはしておかねば、と思っています。年齢を重ねるごとに寒さに対する抵抗力が明らかに失われて行く我が身にとって、昨年長期にわたる猛暑が恋しく思われる、とは言いすぎでしょうか。

さて、本日は公益社団法人 鳥取県観光連盟の田中専務理事にお話を頂きます。鳥取県の観光に対する取り組みや戦略が伺えるものと期待しております。遡ること40数年前、大学卒業後の5年

間旅行業界に身を置いたこともあってか、「観光」の二文字は己の琴線に触れるのでしょうか、妙にワクワクしてしまいます。鳥取のファンを増やすアイデアやヒント、私たちに出来ることは無いかなど夢は広がります。鳥取の広報マンを自認する立場としては、あらゆる場面でふる里鳥取への誘客に尽力することから全ては始まると思っています。閑話休題、我々が石破総理とトランプ大統領の日米首脳会談も間近に迫り、今後の日米関係はもとより、石破政権の今後を占う上でも重要な一週間となるでしょう。如何なる立場でも「まずは一步を踏み出そう。[It's showtime!!]

幹事報告

- 1 到着文書
 - 1) 榊原ガバナー事務所よりロータリー文庫通信 390号
 - 2) ロータリー米山記念奨学会より2024年度寄付証明書
- 2 例会変更・メイクアップ情報

米子東RCより

5/21 ⇒ 5/9 移動例会振替

※ビジター受付は定刻定例会場にて

3 その他連絡事項

- ・ 本日の配布物
 - 米山記念奨学会より寄付証明、抜萃のつづり
 - ・ 東部5RC合同夜間例会の会費を収集します
 - ・ 次週2/11は祝日により休会
 - 2/18はロータリー学生表彰
- ・ 事務局 2/7 (金) 休み

委員会報告

◎出席率報告

2月4日 会員44名中 出席34名 出席率77.27%

◎誕生日御祝

道上正規さん 森本美明さん 小林弘尚さん
松本啓介さん 山本清司さん

スマイル報告

(本日9,000円 累計 471,830円 前回 462,830円)

水野治郎さん 今週は、この冬最強の寒波襲来とのこと。皆さん、ヒートショックには十分気を付けましょう。

田中英剛さん 昨日、節分と星供(ほしく)の護摩を焚きました。参拝者にも喜んでもらえました。その後は鬼の面をかぶって子供に豆をくらって、子供は喜んでいました。

森下泰年さん 先週末でようやく新年会が終わりました。(12回中10回出席、内2回ノンアル)肝臓の数値は改善傾向ではありますが依然基準値を超えているので、今年も肝臓をいたわりながらお酒を楽しみたいと思います。

植田哲朗さん 田中規靖様、本日の卓話よろしくお願いたします。楽しみにしています。

福田 収さん 寒い日が続くそうですので、皆様お体を大切にしてください。

道上正規さん 今や、二人で一人前。スマイルは一人前。(誕生日)

※2大御祝(本日6,000円 累計98,000円 前回92,000円)

道上正規さん
小林弘尚さん
松本啓介さん } 誕生日御祝

卓話

「鳥取観光よもやま話」

公益社団法人 鳥取県観光連盟
専務理事 田中規靖 氏



新型コロナウイルス感染者が国内で初確認されてから、この1月で5年が経過しました。国内感染者数は7千万人以上と推計され、全世界的に猛威を振るい大きな社会的負荷を被ることとなり、特に観光関連業界には多大なマイナス要因となり、コロナ禍後の観光動向の変化にも大きな影響を与えました。ようやく、2023年5月の国内5類移行以後は全国的に国内観光の回復、更に円安とも相まったインバウンド需要の回復が顕著となり、国際定期便の復活もあり、鳥取県にもその風が吹き始めています。

観光庁の宿泊旅行統計によれば、鳥取県の今

年1月～10月までの日本人延べ宿泊者数は、コロナ禍前の対2019年比で102.6%、対前年比で127.2%と、コロナ禍前超えに回復して本県観光関係者の取組が効果を上げており、中国地域全体の水準(対2019年比98.7%)よりかなり上回っています。

他方、本県の人口は現在53万人を割りこみ、本県の経済社会を持続可能なものとするためには、国内外からの外貨を稼ぐ観光関連産業の存在意義は大きいと考えます。

そうした本県の観光振興にわずかながらも貢献すべく当連盟では、次の4つの柱を中心に取り組んでいます。①旅行会社を通じた誘客促進(旅行会社の旅行商品造成支援、旅行会社向け商談会・説明会開催、国・県と連携した誘客促進(コロナ禍時の全国旅行支援等)等) ②公式ホームページ・SNS活用・インスタグラマー活用による観光情報発信、人流・発地・属性等解析によるセグメントに応じたWEB広告等や情報発信(観光DX) ③県内周遊施策・観光受地づくりによる周遊促進(観光地魅力ブラッシュアップ、周遊観光パスポート「トリパス」、開運神社巡り、ウエルカニキャンペーン等) ④鳥取県フィルムコミッションとしてロケ誘致促進・情報発信(映画「ルート29」ロケ支援及びプロモーション、映画・テレビドラマ・番組・CM等のロケ誘致、ロケの円滑化支援等)

観光素材として活用できる新たな施設として、3月30日オープンの「鳥取県立美術館」、昨年3月オープンの「青谷かみじち史跡公園」、同じく4月オープンの「水木しげる記念館」、この4月オープン予定の「HOTEL星取テラスせきがね」や「道の駅ほうじょう」等をご紹介させていただきつつ、「鳥取県フィルムコミッション」としての事業展開(映画「ルート29」に係る取り組みを例に)や大阪・関西万博を活かした鳥取県の誘客施策等も紹介させていただきました。

紙面の制約もあり、卓話での詳細は省かせていただきますが、ご参加の皆様のご記憶に留め、多くの方々に本県の魅力をご紹介いただければ幸いです。

(担当 秦野諭示)